



常见病 临床诊疗学

主 编 卢经民
陈连德
秦继昌
魏庆钊

青岛海洋大学出版社

常见病临床诊疗学

卢经民 陈连德
秦继昌 魏庆钊 主编

青岛海洋大学出版社

(鲁)新登字15号

常见病临床诊疗学

卢经民 陈连德 主编
秦继昌 魏庆钊

*

青岛海洋大学出版社出版发行

青岛市鱼山路5号

邮政编码 266003

新华书店经销

青岛新华印刷厂印刷

*

1994年9月第1版 1995年2月第2次印刷

32开本(850×1168毫米) 24.375印张 4插页 700千字

印数 3101—7000

ISBN 7-81026-655-1

R·66 定价：18.50元

《常见病临床诊疗学》编委会

主编 卢经民 陈连德 秦继昌 魏庆钊
副主编 李汝元 顾远胜 邵全义 李道乾
张恩荣 冷培基 王朋杰

委员 (以姓氏笔划为序)

丁景宗	马川玉	马振禄	王继彬
王作生	田增水	朱庆元	刘庆文
纪 鹏	孙中全	李正义	李山英
李军功	杜建华	张以华	张吉坤
张曙明	张衍荣	杨友德	杨冠顺
宗承元	孟立红	赵德利	赵传瑞
郭晓路	桑逢梅	高玉香	柴海云
梁俊成	崔洪兰	葛广英	

序

为了实现“2000年人人享有卫生保健”的目标,提高基层医务人员的素质,编写一部既阐述理论又注重临床实用的医疗工具书实为当务之急。为此,由主任医师卢经民、副主任医师陈连德、秦继昌、魏庆钊主编,邀集近五十位各医疗专业的高、中级医疗人员,广采博览,取众家之长,结合临床实践,编写了《常见病临床诊疗学》一书。

该书取材广泛、内容翔实、数据可靠、语言简练,对常见病的诊断和治疗,作了较系统、较完备的阐述,介绍了较新颖、先进的医学理论和治疗方法,基本上反映了近年临床医学发展的新成就,具有较高的学术水平和实用价值,是广大基层医务人员的必备教材和良师益友。

本书的编写受到肥城市委、市政府的充分重视,相信它的出版一定会对基层卫生工作起到积极的推动作用。当本书出版之际,谨向诸位编者致以诚挚的祝贺。

杨忠海

1994年7月

前　　言

医学科学发展迅速,临床诊疗技术日新月异。广大基层临床医师急需更新医学知识,提高诊疗水平,他们迫切需要一本简明实用、体现现代诊疗水平的工具书。有鉴于此,我们参考了大量国内外资料、结合基层医疗工作的性质和特点,编写了这本《常见病临床诊疗学》。

本书坚持面向基层,注重实用,理论与实践、普及与提高相结合的原则,以临床各科常见病、多发病为出发点,以诊断和治疗为中心,按专业分十章,对最常遇到的问题和重要的诊疗手段与方法进行详细阐述,并侧重介绍九十年代的新知识、新理论和新技术。本书是广大基层医务人员,特别是乡村和厂矿医师的必备工具书。

由于时间仓促,水平所限,书中错误之处在所难免,恳请读者指正。

编　者

1994年7月

目 录

第一章 急 症

1 高热	(1)	21 风湿性心瓣膜病	(90)
2 窒息	(4)	22 冠状动脉粥样硬化性心脏 病	(95)
3 昏迷	(7)	23 隐匿型冠心病	(98)
4 休克	(13)	24 心绞痛	(99)
5 急性左心衰竭	(18)	25 急性心肌梗塞	(103)
6 急性呼吸功能衰竭	(20)	26 高血压病	(109)
7 急性肝功能衰竭	(23)	27 感染性心内膜炎	(112)
8 急性肾功能衰竭	(26)	28 心肌炎	(115)
9 心脏骤停与心肺复苏	(30)	29 原发性心肌病	(118)
10 咯血	(35)	30 心包炎	(123)
11 急性上消化道出血	(37)	消化系疾病	
12 便血	(41)	31 反流性食管炎	(126)
13 急性中毒	(43)	32 急性胃炎	(128)
14 中暑	(66)	33 慢性胃炎	(131)
15 电击伤	(68)	34 消化性溃疡	(132)
16 溺水	(70)	35 胃下垂	(136)
17 动物咬伤	(72)	36 肝硬化	(137)

第二章 内 科

心血管疾病			
18 充血性心力衰竭	(76)	40 结核性腹膜炎	(148)
19 常见心律失常	(79)	41 急性胆囊炎	(150)
20 急性风湿热	(87)	42 慢性胆囊炎	(152)
		43 急性胰腺炎	(154)

44	慢性胰腺炎	(157)	70	营养性巨幼细胞性贫血	...	(224)
45	细菌性肝脓肿	(160)	71	再生障碍性贫血	(226)
46	胆道蛔虫病	(162)	72	原发性血小板减少性紫癜	(231)
	呼吸系疾病			73	过敏性紫癜	(234)
47	急性上呼吸道感染	(165)	74	白血病	(237)
48	急性气管—支气管炎	(167)	75	播散性血管内凝血	(243)
49	慢性支气管炎	(168)	76	白细胞减少症和粒细胞缺乏症	(246)
50	慢性阻塞性肺气肿	(171)	77	骨髓增生异常综合症	(249)
51	慢性肺原性心脏病	(172)	78	淋巴瘤	(250)
52	支气管哮喘	(176)				
53	支气管扩张	(179)				
54	细菌性肺炎	(181)				内分泌、代谢疾病
55	肺脓肿	(185)	79	成人垂体前叶功能减退症	
56	肺结核	(187)				(255)
57	结核性胸膜炎	(190)	80	尿崩症	(258)
58	自发性气胸	(192)	81	皮质醇增多症	(261)
59	肺癌	(195)	82	嗜铬细胞瘤	(264)
60	慢性呼吸衰竭	(199)	83	甲状腺机能亢进症	(267)
	泌尿系疾病			84	甲状腺机能减退症	(271)
61	急性肾小球肾炎	(202)	85	糖尿病	(275)
62	急进性肾小球肾炎	(204)	86	糖尿病酮症酸中毒	(281)
63	慢性肾小球肾炎	(205)				结缔组织病
64	隐匿性肾小球肾炎	(207)	87	系统性红斑狼疮	(285)
65	肾病综合征	(209)	88	类风湿性关节炎	(288)
66	肾盂肾炎	(213)				
67	慢性肾功能不全(尿毒症)	(216)				神经系统与精神疾病
				89	头痛	(291)
68	膀胱炎	(220)	90	多发性周围神经炎	(294)
	血 液 病			91	急性感染性多发性神经炎	
69	营养性缺铁性贫血	(222)	92	急性脊髓炎	(299)

93	短暂脑缺血发作	(302)	120	头皮损伤	(379)
94	动脉硬化性脑梗塞	(304)	121	颅骨骨折	(380)
95	脑栓塞	(305)	122	原发性脑损伤	(383)
96	原发性脑出血	(307)	123	外伤性颅内血肿	(389)
97	蛛网膜下腔出血	(309)	124	脑外伤后综合征	(394)
98	癫痫	(310)	125	颅内肿瘤	(396)
99	神经衰弱	(315)	126	脑脓肿	(399)
100	癔病	(317)			
101	精神分裂症	(319)			

第三章 外 科

普通外科

102	急性化脓性感染	(323)
103	破伤风	(326)
104	烧伤	(328)
105	常见体表肿瘤	(332)
106	甲状腺疾病	(335)
107	乳房疾病	(338)
108	腹股沟疝	(342)
109	急性腹膜炎	(345)
110	胃十二指肠溃疡穿孔	(348)
111	胃癌	(351)
112	肠梗阻	(354)
113	阑尾炎	(359)
114	胆石症	(362)
115	常见肛周疾病	(366)
116	直肠癌	(372)
117	腹部闭合性损伤	(374)
118	单纯下肢静脉曲张	(376)
119	血栓闭塞性脉管炎	(377)

神经外科

127	尿道损伤	(403)
128	急性前列腺炎	(404)
129	前列腺增生症	(405)
130	膀胱结石	(407)
131	鞘膜积液	(409)
132	精索静脉曲张	(410)
133	肾结核	(411)
134	肋骨骨折	(413)
135	创伤性气胸	(414)
136	创伤性血胸	(416)
137	脓胸	(417)
138	食管癌	(419)
139	肱骨髁上骨折	(424)
140	桡骨下端骨折	(425)
141	肩关节脱位	(426)
142	胫腓骨骨干骨折	(427)
143	股骨干骨折	(428)
144	股骨颈骨折	(430)
145	髋关节脱位	(431)
146	脊柱骨折与脱位	(433)

147	骨盆骨折	(434)	174	异常分娩	(518)
148	手部损伤	(436)	175	产后出血	(528)
149	肩关节周围炎	(440)	176	子宫破裂	(532)
150	颈椎病	(441)			
151	腰腿痛	(444)			
152	化脓性骨髓炎	(449)			
153	骨与关节结核	(452)			
154	常见骨肿瘤	(454)			
155	先天性髋关节脱位	(457)			

第四章 妇产科

妇科疾病

156	阴道炎	(460)
157	慢性子宫颈炎	(463)
158	盆腔炎	(464)
159	功能失调性子宫出血	(468)
160	闭经	(473)
161	痛经	(476)
162	子宫肌瘤	(478)
163	子宫颈癌	(481)
164	子宫内膜癌	(485)
165	卵巢肿瘤	(488)
166	葡萄胎	(492)
167	计划生育手术并发症	(495)

产科疾病

168	妊娠剧吐	(500)
169	妊娠高血压综合征	(501)
170	流产	(505)
171	异位妊娠	(508)
172	前置胎盘	(512)
173	胎盘早期剥离	(514)

第五章 儿科

新生儿疾病

177	新生儿窒息	(535)
178	新生儿黄疸	(537)
179	新生儿溶血病	(541)
180	新生儿肺炎	(543)
181	新生儿出血症	(545)
182	新生儿颅内出血	(547)
183	新生儿硬肿症	(549)
184	新生儿败血症	(552)
185	新生儿破伤风	(554)
186	新生儿呕吐	(557)

儿童常见疾病

187	婴幼儿腹泻	(559)
188	营养不良	(562)
189	维生素D缺乏性佝偻病	(564)
190	先天性心脏病	(567)
191	小儿惊厥	(578)
192	细菌性脑膜炎	(581)
193	病毒性脑炎	(585)
194	急性中毒性脑病	(588)

第六章 传染病科

195	流行性感冒	(591)
196	麻疹	(593)
197	水痘	(596)

198	风疹	(597)	228	体癣与股癣	(673)
199	流行性腮腺炎	(599)	229	手癣、足癣	(674)
200	猩红热	(601)	230	头癣	(675)
201	百日咳	(603)	231	斑秃	(677)
202	流行性脑脊髓膜炎	(605)	232	疥疮	(678)
203	病毒性肝炎	(607)	233	鸡眼与胼胝	(679)
204	伤寒与副伤寒	(614)	234	银屑病	(679)
205	细菌性食物中毒	(617)	235	白癜风	(681)
206	细菌性痢疾	(621)	236	脂溢性皮炎	(682)
207	阿米巴痢疾	(625)	237	酒渣鼻	(684)
208	阿米巴肝脓肿	(628)	238	腋臭症	(685)
209	脊髓灰质炎	(630)	239	手足皲裂	(685)
210	流行性乙型脑炎	(632)	240	多形性红斑	(686)
211	疟疾	(636)	241	日光性皮炎	(687)
212	流行性出血热	(639)	242	寻常性痤疮	(688)
213	狂犬病	(645)	243	雀斑	(689)
214	血吸虫病	(647)	244	冻疮	(690)
215	肺吸虫病	(651)	245	玫瑰糠疹	(691)
216	华支睾吸虫病	(654)	246	结节性红斑	(692)
217	钩虫病	(656)	247	花斑癣	(693)
218	蛔虫病	(658)	248	扁平疣	(694)
219	蛲虫病	(660)	249	寻常疣	(695)
220	肠绦虫病	(661)	250	传染性软疣	(696)
221	囊虫病	(662)	251	尖锐湿疣	(697)
			252	盘状红斑狼疮	(698)
			253	淋病	(699)

第七章 皮 肤 科

222	湿疹	(665)
223	荨麻疹	(666)
224	带状疱疹	(667)
225	药疹	(669)
226	脓疱疮	(671)
227	神经性皮炎	(672)

第八章 眼 科

254	睑缘炎	(701)
255	睑腺炎	(702)
256	霰粒肿	(702)
257	慢性泪囊炎	(703)

258	细菌性结膜炎	(703)	278	慢性非化脓性中耳炎	(733)
259	沙眼	(704)	279	咽后脓肿	(734)
260	青光眼	(705)	280	咽、喉异物	(735)
261	老年性白内障	(707)	281	气管、支气管异物	(736)
262	电光性眼炎	(708)	282	食管异物	(737)
263	屈光不正	(709)			
264	匐行性角膜溃疡	(711)			
265	眼化学伤	(711)			
266	翼状胬肉	(712)	283	龋齿	(739)
267	急性虹膜睫状体炎	(713)	284	急性牙髓炎	(741)
268	眼球表面异物	(714)	285	急性根尖周围炎	(744)

第九章 耳鼻咽喉科

269	急性鼻炎	(716)	289	鹅口疮	(751)
270	慢性鼻炎	(718)	290	三叉神经痛	(752)
271	鼻出血	(720)	291	面周围神经炎	(753)
272	急性喉炎	(724)	292	口腔颌面部损伤	(754)
273	急性扁桃体炎	(726)	293	智齿冠周炎	(757)
274	慢性扁桃体炎	(728)	294	急性颞下颌关节脱位	(760)
275	慢性咽炎	(729)	295	疱疹性口炎	(761)
276	急性化脓性中耳炎	(730)	296	牙痛	(762)
277	慢性化脓性中耳炎	(731)	297	急性化脓性腮腺炎	(764)

第十章 口腔科

第一章 急 症

1 高 热

健康人衣着适宜，饮食正常，可以通过体内产热和散热调节，经常保持恒定的体温。临床检查体温最常用的方法是测量腋窝温度，时间为5min。正常人的体温在36~37℃。体温过高称为发热。一般将发热分为低热37~38℃、中热38~39℃、高热39~41℃和超高热41℃以上。以下着重讲述高热的诊疗。

【病因】

1. 急性感染性疾病 全身性常见于粟粒性肺结核、大叶性肺炎、猩红热、伤寒、败血症、细菌性心内膜炎、流行性感冒、流行性出血热、麻疹等。局限性常见于肝脓疡(阿米巴性与细菌性)、胆道感染、泌尿生殖道感染、腹腔内脓肿等。
2. 血液病和恶性肿瘤 急性白血病、重型再障、肝癌、淋巴瘤、恶性组织细胞病等。
3. 内分泌与结缔组织病 甲亢危象、风湿热、系统性红斑狼疮、结节性多动脉炎等。
4. 其他 输液输血反应、中暑、脑出血、药物热、假热等。

【发病机理】引起发热的物质称致热源，可分为外源性致热源与内源性致热源(简称内热源)。外源性致热源如细菌内毒素，大多是脂多糖类，其分子量大，不能直接作用于体温调节中枢的神经元而引起发热。内热源以无活动性前身物质的形式存在于单核细胞和巨噬细胞内。当这些细胞被病毒、细菌、内毒素、抗原抗体复合物、炎性渗出物、类固醇等激活剂激活后，便可产生和释出内热源，作用于体温调节中枢而引起发热。被抗原激活的淋巴细胞所产生的淋巴细胞激活因子(LAF)，

也能激活单核细胞和巨噬细胞，释出内热源。近年还证明，纯化了的内热源是与 LAF 性质相同的类激素物质，现已称为白细胞介素 1，它能刺激辅助性 T 淋巴细胞增生，产生抗体和免疫反应。

【诊断】

1. 热型 根据发热病人定时测定体温的数据，可绘成体温曲线。有许多发热疾病其体温曲线常呈一种特殊形态，称为热型。热型在诊断和鉴别诊断上有一定的参考价值。

(1)稽留热 体温持续在 39~40℃ 达数天至数周，24h 内波动范围不超过 1℃，见于伤寒、大叶性肺炎等。

(2)驰张热 体温在 39℃ 以上，24h 内波动范围 2℃ 以上，体温最低时仍高于正常体温，见于败血症、脓毒血症、风湿热、重症肺结核、肝脓疡等。

(3)间歇热 高热期与无热期交替出现，体温波动幅度可达 3℃ 以上。见于疟疾、急性肾盂肾炎、布氏杆菌病等。

(4)不规则热 发热无一定规律，可见于结核病、风湿热、渗出性胸膜炎、细菌性心内膜炎等。

2. 伴随症状和体征

(1)寒战 常见于大叶性肺炎、疟疾、败血症、急性肾盂肾炎。

(2)单纯疱疹 常见于上呼吸道感染、大叶性肺炎、疟疾、流行性脑脊髓膜炎而不见于结核心性脑膜炎。

(3)眼结膜充血 常见于麻疹、流行性出血热、斑疹、伤寒等。

(4)皮疹 常见于麻疹、猩红热、伤寒、斑疹伤寒、流行性出血热、败血症、药物热等。

(5)出血素质 常见于重症麻疹、流行性出血热、急性白血病、重型再障、败血症等。

(6)淋巴结肿大 可见于局灶性化脓性感染、急性白血病、淋巴瘤、传染性单核细胞增多症、风疹等。

(7)肝脾肿大 常见于败血症、伤寒、疟疾、淋巴瘤、白血病等。

(8)关节肿痛 常见于风湿热、结核病、结缔组织病、化脓性关节炎、痛风等。

3. 实验室检查 应结合临床有针对性地进行选择检查,既不可过分依赖,也不可忽视。

(1) 血象 严重化脓性感染,白细胞与中性粒细胞显著增多。伤寒、疟疾及病毒性传染病早期白细胞常减少或正常。异常白细胞的出现和增多应考虑血液病。疟疾血液涂片可发现疟原虫。

(2) 尿常规检查 高热可发现轻度蛋白尿,但显著蛋白尿伴有血尿或脓尿时,则应考虑尿路炎症、结缔组织病、肾肿瘤、结节性多动脉炎等。

(3) 大便常规检查 有无脓血便、吞噬细胞,能否找到阿米巴滋养体或包囊,对细菌性和阿米巴性痢疾的诊断与鉴别有重要意义。

(4) 胸部 X 线透视 了解心、肺与横膈的情况。必要时胸部摄片,以除外粟粒性肺结核与肿瘤等。

(5) 经以上检查发热原因仍不明确者,应进一步做细菌学检查、血清学检查、活体组织病理学检查、影像学检查、内镜检查及手术探查。

【治疗】

1. 一般治疗

(1) 卧床休息,鼓励病人多饮水,给流质或半流质饮食。如不能进食者,可给静脉点滴 5% 葡萄糖生理盐水和 10% GS 各 500~1000ml。须注意脱水和电解质失衡,一旦发生应及时纠正。

(2) 物理降温 体温超过 39℃,可用 50% 酒精擦浴,用冰袋或冷水毛巾置前额头部两侧、颈部、腋窝、腹股沟等大血管走行处。

(3) 药物降温 成人一般可用复方阿斯匹林、复方氨基比林、消炎痛等解热剂。如病情严重为防止高热惊厥,减轻毒血症,亦可于静脉滴液中加入氟美松 5~10mg。但老年人与衰弱者剂量宜小,以免体温骤降而发生大汗虚脱。药物降温系应急措施不能常规使用。

如高热惊厥,除物理降温外,可用亚冬眠疗法;氯丙嗪和异丙嗪按 1mg/kg 肌注或静脉滴注,使病人入眠后,以半量每 4~6h 重复用药 1 次,一般维持 12~24h,情况好转后停用。中药羚羊粉、紫雪丹对高热亦有作用。

2. 病因治疗 应积极查找病因,进行病因治疗。未查明病因前,病

人情况许可尽量不用退热药和糖皮质激素。疑感染性疾病，并从有关的实验室检查获得支持时，可给予针对某种疾病敏感的抗生素、抗结核药、抗原虫药及抗真菌药等。

(林益泉、柴海云)

2 窒 息

窒息是指因外界氧气不足或其他气体过多或者呼吸系统发生障碍所导致的呼吸困难，甚至呼吸停止。广义的窒息包括呼吸道阻塞、呼吸肌麻痹、缺氧及氧交换障碍所致的呼吸停止。呼吸肌麻痹多由脑炎、脊髓前角灰质炎、多发性神经根炎、脑血管意外、重症肌无力、肌肉松弛剂、麻醉药与镇静药等引起。缺氧及氧交换障碍则由窒息性毒气如一氧化碳、氰化物、硫化氢等引起。胎儿缺氧发生胎内窘迫以致出生后出现的呼吸衰竭称为新生儿窒息。以上原因所致窒息详见有关章节。

创伤性窒息为胸部闭合伤后的一种综合征。在车祸、房屋倒塌、地震灾害等外伤的同时，即胸部受伤的瞬间，因声门突然紧闭，气管和肺内空气不能外溢，造成肺内压力急剧升高，压迫心脏及大静脉，由于上腔静脉无瓣，这一突然压力增加造成上半身瘀血并发毛细血管点状出血。诊断上依据有外伤史，伤员上胸部、肩部和头颈部广泛的皮内、皮下点状出血或片状出血。当视网膜静脉破裂时可引起失明，颅内静脉破裂时可发生昏迷。这类情况需与颅脑损伤进行鉴别诊断。治疗主要是对胸部或胸部以外损伤的处理，而单纯此综合征一般并无严重后果，亦无特殊治疗，数周后自愈。

【病因】

1. 急骤发病

(1)喉水肿常伴痉挛 见于小儿急性喉炎、白喉、喉脓肿、过敏反应、低钙血症。应注意的是小儿急性会厌炎，初起症状不如上述病变更明显，但发病急，进展快，可突然发生窒息。

(2)呼吸道异物 主要原因是进食时哭、笑、喊叫而致将食物呛吸入下呼吸道。多发生于3岁以下的小儿，因其咳嗽反射不健全，磨牙尚未萌出，不能很好地咀嚼食物，或当儿童口内含有食物时不慎跌交，或

父母采用粗暴方法,引起小儿惊哭,易将食物吸入气道。成人在进食时谈笑,或工作中有将钉、针等物含咬于齿间的不良习惯,每致误吸。此外,在呕吐、麻醉、中毒或患有神经系统疾病,以致咽喉反射受到抑制时,也可造成这种意外。异物的种类以蚕豆、瓜子、黄豆、花生米等为多。除较大而扁平的异物可以嵌顿在声门区外,绝大多数的细小异物都能进入气管或支气管。早期,异物可随呼吸在气管内上下活动,以后逐渐在支气管内嵌顿下来,右支气管存留机会较多。

(3)呼吸道外伤 沸水、强酸或强碱烧伤呼吸道,可引起喉、气管严重损伤而出现喉、支气管严重痉挛造成窒息。

(4)溺水 人淹溺时,水堵塞呼吸道并吸入肺导致缺氧窒息。

(5)大咯血 呼吸道及消化道大量出血,致使血液堵塞支气管、气管,造成窒息。

(6)绞缢 损伤喉、气管而致窒息。

2. 缓渐发病 舌根癌、喉癌、喉粘液囊肿、喉蹼、气管内肿瘤等引起梗阻性呼吸困难。颈部因纵膈肿瘤、淋巴结肿大、甲状腺肿大、血肿、脓肿等压迫气管引起窒息。气管瘢痕狭窄。

【诊断】

1. 临床表现

(1)呼吸系统症状 可出现呼吸窘迫及吸气时有明显的三凹体征(胸骨上、锁骨上及肋间凹陷)、呼吸停止。喉部梗阻病人有声音嘶哑、失音及喘鸣。

(2)缺氧和高碳酸血症的症状 病人出现烦躁不安、惊恐及全身紫绀,心率明显增快,心律失常,如治疗不及时,最终可由于缺氧而进入意识障碍、休克、呼吸心跳停止。

(3)与病因有关的特殊表现 过敏性喉水肿病人在其他部位(粘膜下、皮肤或其它松弛结缔组织部位)可出现类似水肿,少数病人还可出现全身荨麻疹;低钙血症病人可出现手足搐搦、四肢肌紧张;呼吸道异物早期,异物可随呼吸在喉、气管内上下移动,以后若嵌顿在喉、气管,即出现阵发性呛咳,如属感染性异物,病人可有高热等全身症状;淹溺者可有口鼻淤泥、杂草,口鼻和气管充满血性泡沫、昏迷。绞缢者颈部有